



三谷ファミリークリニック

～ミタクリ通信～ 2024年5月号

2024年5月1日

発行所：医療法人三谷ファミリークリニック

発行人 / 三谷 和男・巽 欣子

〒593-8324 堺市西区鳳東町4丁354-1

電話 072-260-1601 FAX072-260-1603

皐月(さつき)5月です。さくらの季節が終わると、日中の気温が一気に上がり、服装に悩みます。年度替わりの四月は、慣れない環境に「えっ？」と思うことも多く、緊張感から疲れが出てくる時期です。ゴールデンウィーク、少しでもリフレッシュできましたか。みどりがうつくしく迎えてくれます。



青もみじのトンネル

ゴールデンウィーク前後からもみじの木々の枝にはたくさんの新芽が芽吹き、色鮮やかな黄緑色の葉をつけます。夏にかけてあおみどりの色合いはだんだん深くなり、落ち着いた青葉へと変わっていきます。この季節の「もみじのトンネル」は清涼感あふれます。みずみずしいみどりと青い空は、この時期の京都の風物詩です。さあ、大きく深呼吸してみましょ。みどりの生命力が私たちに生きる力を与えてくれますよ。

(資料：叡山電車HP、「そうだ、京都に行こう」)

【ニュース】

① 診療日の変更

5月31日(金)～6月1日(土) 三谷休診

(日本東洋医学会出席のため)

6月3日(月) 巽休診(代診はありません)

② 第74回日本東洋医学会学術総会 市民公開講座

第74回日本東洋医学会学術総会が、5月31日(金曜日)～6月2日(日曜日)の3日間、大阪市北区中之島にある大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)で開催されます。本学会では、三谷が会頭を務めさせていただきます。メインテーマは「東洋医学を通じた和の構築」、サブテーマを「病人さんに還る」としました。コロナ禍ではオンラインによる開催を余儀なくされたので、対面での開催はなんと5年ぶりです。

皆さんにぜひお越しいただきたいのは市民公開講座です。今回は、大阪・北浜に適塾を開き、日本の医学の発展、後進の指導に力を尽くした緒方洪庵(1810-1863)を取り上げました。「時空を越える 緒方洪庵」と題して、6月2日(日曜日)14:00～16:00に開催します。今回の通信にご案内を挟みましたので、奮ってご参加ください。



大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ、JR大阪駅桜橋出口よりシャトルバス(リーガロイヤルホテル行)に乗っていただくと約10分で着きます

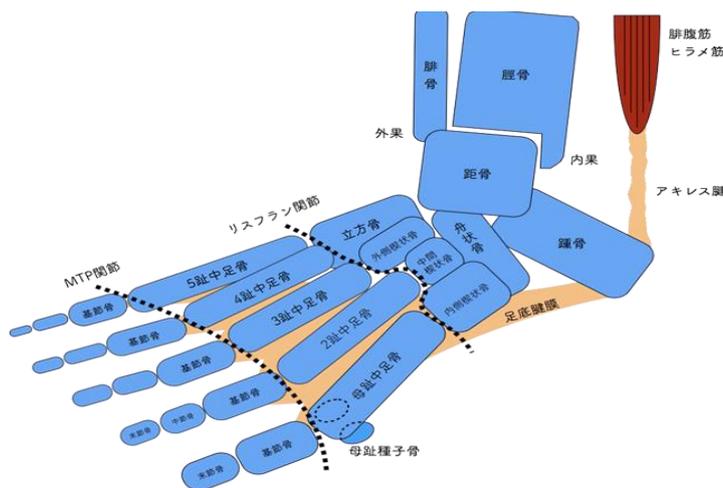
【こんにちは！フットケア外来です ～5月号～ 看護師・泉谷めぐみ 蔭西訓子】

今月は足のしくみについて書きたいと思います。

足の骨は何個の骨で形成されていると思いますか？

足は片足 26 個、両足で 52 個の骨から構成され、55 の関節、100 を超える靭帯で、体を支えています。これらの構造や働きが、私たちの自然な歩行を可能にしています。

足は全身を支える土台です。体の中で唯一、毎日何千回も地面に接地し負荷がかかる部位です。それゆえに足の環境の変化で身体動作にも変化が起こってきます。



【ミタクリ漢方 おとなの遠足 森野旧薬園散策】



4月28日(日曜日)日本東洋医学会奈良県部会(Part2)で、奈良県宇陀市大宇陀にある森野旧薬園を訪れました。研究会は、座学(講義を聞いて勉強する)スタイルがほとんどですが、今回は「おとなの遠足」と称し、参加された先生方とともに、気持ちのいいほどのさわやかな青空の下、薬草たちのこえを聴きに行ってきました。



(森野旧薬園の紹介)

森野旧薬園は、東京の小石川養生園現存するわが国最古の私設薬園で、江戸時代中期、享保14年(1729年)に森野賽郭(さいかく)公により創始されました。この年、八代將軍徳川吉宗(例の暴れん坊將軍です)の命を受け、幕府採薬使として植村左平次が採薬調査に訪れた際、賽郭公は薬草見習いとして出仕しました。この採薬調査に協力した功績により、同年に幕府から森野賽郭公に対し貴重な外国産の種苗6種が下付され、賽郭公自らが各地で採取した薬草類とともに、薬草木を自家背後の台地上の畑地で栽培しました。これが当薬園の成立とされています。



現在、旧薬園の尾根西斜面で見ることができる老木の山茱萸(さんしゅゆ)は、この時に下付されたものといわれています。

その後も幕府からは薬草木が下付され、薬園として整備が重ねられ、次第に幕府官園の補助機関としての地位を固めていきました。江戸時代に開設された日本の薬園は、幕府、諸藩で設置されたほか、商人、本草学者などによる私設薬園の開園も相次ぎ、ほぼ日本全土に広がりました。しかし、明治維新に至り、これらの大半が閉鎖され、その状態を今に残している薬園は、ほとんどありません。このような状況のもと、当薬園は、開園当初の状況が現在まで連綿と継承され、薬園としての旧態が良く保たれています。



現在、当薬園内には約 500 種以上の植物が確認されており、きめ細かい専門的な管理によって、多様で貴重な薬草が維持されています。また、桃岳庵や石水亭、賽郭祠堂などと呼ばれている歴史的建造物も残っています。



(森野旧薬園が地域にとって大切な歴史文化資源である理由)

日本書紀に、推古 19 年 (611 年) 5 月条に「夏五月の五日に、菟田野(うだのの)に薬獵(くすりがり)す。」といった記載があります。この記載は、史料で確認できるわが国最初の薬獵の記録でもあります。額田王 (ぬかだのおおきみ) と大海人皇子 (おおあまのみこ) の恋の歌(「あかねさす紫野行き標野(しめの)行き 野守は見ずや君が袖振る」「紫草(むらさき)のほへる妹を憎くあらば人妻ゆゑに我恋ひめやも」)はこの時に詠まれたものとも言われています。このような歴史的な背景のもと、江戸時代に宇陀の地に「森野薬園」が開設され、数少ない民間の薬園として継承されてきました。また、この頃から宇陀郡をはじめ、大和の各地で農家の副業として防風・地黄・当帰・芍薬などの薬草栽培が盛んに行われ、当薬園の薬草栽培と薬種の製造は地方の物産振興に大きな役割を果たしました。宇陀地方から吉野地方にかけては、各種の薬草の供給地であったことから、大和の中南和地域を中心に薬種、製薬業者が多く興り、宇陀地方にも薬種、和薬、合薬を扱う店が多くありました。このような状況のもと、宇陀地域からは、何人もの製薬企業の創業者を輩出しました(津村重舎(株)ツムラ、山田安民 ロート製薬、藤沢友吉 藤沢薬品 現アステラス製薬、笹岡省三「命の母」の笹岡薬品 なお津村重舎と山田安民は実の兄弟です)。



宇陀市大宇陀歴史博物館

このように宇陀は、古代の薬獵にはじまり、江戸時代には薬種・製薬業者の興隆があり、製薬企業の創業者を輩出する素地は十分にありました。江戸時代以降、当薬園の果たしてきた役割・影響には大きなものがありました。そして、現在、宇陀市では、薬草を活用したまちづくりを推進しています。今後も当薬園は、薬草を活かしたまちづくりに寄与する大切な文化財です。

(資料：奈良県歴史文化資源データベース)

ミタクリのコロナをはじめとする各種感染症への対応

ミタクリに来院される皆さん、クリニックの現在の対応について、ご理解よろしく申し上げます！

- ① まず、ウイルスを「持ち込まない」ように細心の注意を払い、クリニック内を1時間半おきに消毒し、常時換気をしています。
- ② **予約の日であっても、調子が悪い場合は、まずお電話（072-260-1601）でご相談ください。**
すぐに来ていただくか、時間をずらしていただくかを、その時点でご案内します。これまでは、コロナはじめ感染症の疑いのある方の場合、予約診療の方と時間・場所を分けて診察していましたが、柔軟に対応いたします。
- ③ **待ち時間の短縮に、引き続き尽力しています。** 私たちにお聞きになりたいことは、質問事項（今回はどんなお薬が必要か、こういった体調の変化があったか、など）や残薬など、あらかじめメモして持参いただけたら助かります。
- ④ お困りのことがあれば、きちんとお聞きして関係各所におつなぎしますので、ご遠慮なくご相談ください。「仕事がなくなってお金が入らない」「家賃や公共料金の支払いに困っている」などです。
- ⑤ ミタクリでは、**オンライン診療**（テレビ）を行っています。利用する際には、機器使用料など、いくつかの条件があります。詳細は、どうぞおたずねください。なお、**電話のオンライン診療は終了しました。**

【外来担当医一覧 2024年5月現在】

予約電話番号：072-260-1601

診察受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00-11:00)	異	異 三谷 (オンライン可)	異(訪問診療) 三谷 (オンライン可)	異	異 三谷	三谷 (オンライン可)
午後 (14:00-16:00)	異 (オンライン可)	異(訪問診療)	異(予約) (オンライン可) 三谷(訪問診療)	異(訪問診療)		
夜診 (16:30-18:30)		三谷 (オンライン可)	三谷		三谷 (オンライン可)	